

令和8年度 歯科口腔保健推進講習会・栄養管理情報連携推進研修会 開催要領

「多職種で支える介護が必要な高齢者の口腔内観察」
～気づく・共有する・つなぐ 生活の場で支える口腔ケア～

1 目的

介護が必要な高齢者にとって、口腔内の状態は栄養、嚥下、誤嚥性肺炎予防等と密接に関係し、在宅・施設を問わず、生活の質に大きな影響を及ぼす重要な要素である。特に、口腔機能の低下は食事摂取量の減少や低栄養の進行を招くことから、口腔と栄養の一体的支援が求められている。

要介護高齢者の口腔内を日常的に観察する習慣を身につけるために、まず、自分自身の口腔内を観察する体験を通じて、観察や誤嚥性肺炎予防の視点を理解するとともに、事例検討を通じて、要介護高齢者の口腔内の異変に気づいた際に、多職種間で共通認識を持ち、適切に歯科医療へつなげる必要性について理解を深めることを目的とする。

また、要介護高齢者が口腔状態に合った食事を摂ることできるよう、多職種連携による栄養管理の推進を目的とする。

2 実施主体

奈良県吉野保健所

3 対象者

居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、通所介護事業所、介護老人福祉施設、介護老人保健施設等職員、在宅・施設において利用者の生活支援をする多職種(リハビリテーション専門職等)、地域包括支援センター職員、市町村高齢福祉・介護保険担当者、医師、歯科医師、歯科衛生士、栄養士 等

4 定員

50名

5 日時

令和 8年8月27日(木) 午後1時30分～4時30分(受付:午後1時～)

6 開催場所

大淀町文化会館(あらかしホール) 2階 視聴覚室 (住所:吉野郡大淀町桧垣本2090番地)

7 内容

1) 情報提供

- ・在宅療養者の口腔ケア・歯科医療の状況について
- ・「奈良県在宅歯科口腔保健ツールパック」について
- ・栄養情報管理伝達ツールの改定および活用状況について

2) 講演

(仮)介護が必要な高齢者の「口腔」を多職種で見る重要性と口腔観察の基本について

講師:一般社団法人 奈良県歯科医師会 高齢者歯科保健委員会 担当常務理事 岡本 吉彦 氏

3) 実践演習

「自分の口腔内を観察してみよう」

～自己観察から得られる気づきと、要介護高齢者の口腔観察にどう活かすか～

講師:一般社団法人 奈良県歯科衛生士会

4) 事例検討・グループワーク

「見えていない口腔の異変に気づけるか」

～口腔観察、食形態、誤嚥性肺炎リスク・つなぎ先を考える～

申し込みフォーム



8 参加申込 別紙参加申込用紙を FAX・メール送信または、URL・二次元コード

の申し込みフォーム(<https://forms.office.com/r/uiv77U5ezi>)にてお申込みください。

9 申込締切 8月20日(木)まで(先着順)

10 持ち物 手鏡があればご持参ください。